

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年2月10日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」仙台富沢校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しております。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員を1名以上（常勤換算による算定）配置しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		室内は、お子様の注意集中のため極力シンプルな内装にしております。又、視覚的に情報を整理しやすいよう環境整備・支援内容を工夫しております。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃箇所や手順等を定め、毎日清掃・消毒を行っております。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		毎年自己評価の機会を設けると共に、今年度より管理者との月1回の個別面談を実施し、目標の明確化および達成への行動を確認しております。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回、アンケートを実施し、業務改善につなげております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社ホームページにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は利用者・他事業所（同法人）の2者評価をとっております。	第三者による外部評価については、現在実施の予定はありませんが、必要に応じて検討して参ります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達支援研究所主催のテーマ研修を月1回、事例検討会を年3回程度行っております。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時、6か月ごとに保護者様にアセスメントを行った上で、個別支援計画を作成しております。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		発達支援研究所と協同で作成した、発達段階に応じたアセスメントシートを活用しています。		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者様とのモニタリングを受けて、適切にアセスメントを行った上でご利用者に必要な支援内容を設定しております。また、ご利用者の状態に合わせ、適宜支援内容を事業所全体で見直しております。		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援目標と内容をその都度確認しながら支援にあたっています。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当以外の指導員が支援に入る機会を設け、多様な視点から支援ができるように心がけています。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子様の意欲や興味関心を大切にしながらプログラムを組んでいます。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		お子様の状況や保護者様のニーズに応じて、個別支援計画を作成しています。また、集団を意識した学習・SSTの内容を個別プログラムに取り入れております。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝会やそれぞれの空き時間に、情報共有を図っております。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼の際に、その日に担当をしてご利用者の様子や保護者様からのお話について話す機会を設けております。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画と照らし合わせて、毎回評価を行い、次の支援に活かしています。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリングを実施しています。		
	関係機関や保	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に児童発達支援管理責任者が参加しています。会議の場所や時間帯によっては、担当指導員が参加することもあります。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		事業所に来て頂く等連携を図っています。	

護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療的スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに関しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		医療的スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに関しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		ご希望される保護者様を通して、情報共有を図っています。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		ご希望される保護者様を通して、情報共有を図っています。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修等に参加させていただいております。	
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		ご希望される保護者様を通して、情報共有を図っています。	
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		研修等に参加させていただいております。	
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後の限られた時間の中で簡単なやり取りを行っています。又、保護者様のご要望に応じて、児発管との面談の時間も設けています。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		支援後の限られた時間の中で簡単なフィードバックを行っています。又、保護者様とのご要望に応じて、児発管との面談の時間も設けています。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		具体例を挙げながら、契約時に丁寧にごさせてさせていただいております。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画を提示しながら、説明を行っております。又、説明後に保護者様から同意を得ています。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		支援前や支援後、限られた時間の中で、保護者様と話をする機会を意識し	

				て設けております。又、ご要望に応じて児発管との面談の時間も設けております。		
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	新型コロナウイルス感染防止のため、昨年度に続きママカフェの実施が難しかったです。	来年度もコロナの感染による影響が考えられますので、開催が決定次第保護者様にお伝え致します。	
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	相談・申し入れがあった際は、職員間で共有し、迅速かつ適切に対応していきます。		
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	従業員の変更など、その都度、詳細の掲示及び管理者よりご利用者様・保護者様に口頭でお伝えしています。		
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している		○	個人情報に記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。		
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	口頭説明だけで難しい場合は、文書を作成し、視覚的に分かりやすく提示する等、配慮しております。		
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	ご要望があれば、保護者様の了解を得たうえで支援の様子を公開いたします。		
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルを作成し、年2回の事業所内訓練の実施や外部研修に参加しております。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	定期的に避難訓練を実施しています。又、実施内容を閲覧できるようにしております。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○	契約時に基本情報シートを記入していただくと共に、内服薬の開始・変更時には保護者様よりお聞きした情報を従業員間で共有しております。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	基本情報シートにアレルギーに関する情報を記入していただき、該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリ・ハット事例が起こった際は、報告書を作成・保管し、職員間で検討・共有しております。	

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。又、保護者様へは契約時に説明を行っています。個別支援計画の記載については、お子様や保護者様に事前に承諾を得た上で記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年2月10日

業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」仙台富沢校 保護者等数（児童数）：17名 回収数：13名 割合：76%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動活動の時だけはもう少し広いといいなと思います。</li> <li>・人数が多くなるとぎやかで集中できるか不安になります。</li> <li>・少し狭いし、他の子の声が気になる時がある。</li> </ul>	現状で可能な限りのスペース確保に努めて参ります。また、コロナ感染防止の観点からも密を避ける取り組みを徹底して参ります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門があるか知りませんでした。</li> </ul>	職員の資格や異動等について皆様にご覧いただけるスペースに掲示する等、周知に努めて参ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室前のテーブルなど、一目で分かりやすいです。</li> <li>・各部屋に番号があって、分かりやすそうです。</li> </ul>	今後もご利用様に分かりやすい環境づくりに努めて参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本棚が入口付近にあるため、子どもの興味が本に集中してしまい、なかなか本題に入っていけないことがあるので、本棚の位置はもう少し奥の方が良いのではないかと思います。</li> </ul>	ご利用様のごきょうだいが過ごしやすいよう、絵本棚を設置しておりました。円滑に活動を始められるよう、支援の工夫を図っていきたくと思います。
適切な支援	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	1	0	0		時間をかけて面談を行い、お子様の成長と保護者様のニーズに沿った支援計画の作成に努めて参ります。

の 提 供	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	3	0	1		今後もより適切、かつ具体的な支援計画の作成に努めて参ります。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1	0	0		今後も計画と支援内容の一致を丁寧に行ってまいります。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	3	0	0	・好きなことを優先させていただいているので固定化していると思います。	ご利用者の気持ちの状態を確認しながら、プログラムの内容を工夫して参ります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	6		現在コロナ感染予防により控えさせて頂いておりますが、保護者様のご要望により対応を検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0		契約時にご説明させていただいておりますが、今後も適宜、より丁寧な説明に努めて参ります。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	1	0	0		今後も丁寧な支援内容の説明に努めて参ります。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	0	4	5	・支援プログラムはないが、子供の成長した点やいい面を伝えてくれるので親がわからなかった発見がある。 ・あると嬉しいです。 ・トレーニングは行われていませんが、面談時に相談はできています。	ご家族様の悩みや不安が軽減されるよう、今後もお声がけや面談の実施に努めさせていただきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	4	0	1	・普段あまり先生とお話する機会はないように思います。	新型コロナウイルスの感染防止のため保護者様とのフィードバックの時間を短縮しておりましたが、管理者との面談等を通じてお







対応	①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	1	1	8	無回答 2	事業所内に避難訓練報告ファイルと、避難訓練の様子についてまとめたものを提示しております。より皆様にご覧いただけるよう、周知に努めて参ります。	
	満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	11	0	0	0	無回答 2	引き続きお子様と保護者様の気持ちに寄り添いながら、楽しく活動に参加できるよう療育内容を検討して参ります。
		③	事業所の支援に満足しているか	10	1	0	0	無回答 2 ・子供が楽しく通っていることがすべてだと思っています。	今後ご利用者様が楽しく通所できますよう、従業員一同努めて参ります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。